

# Japan Pentecostal Council ニュース

日本ペンテコステ協議会

事務局：日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団本部内

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20 TEL03-3918-5935

『権勢によらず、能力によらず、

わたしの霊によって』(ゼカリヤ書4章6節)

見よ、兄弟たちが一つになってともに住むことは  
なんという幸せ、なんという楽しさであろう。

詩篇 133 : 1

日本ペンテコステ協議会が10周年を迎え、加入グループ互いの交流が深められつつあることは誠に喜ばしいことです。自分たち一つの教会、自分たち一つの教団の力ではどうにも日本を動かすことは出来ません。主イエス様はゲッセマネで切実に祈られました。「父よ、彼らがみな一つとなりますように。…彼らが一致の中に完成されますように。」パウロも、「謙遜と柔和の限りを尽くし…平和の絆で結ばれて、御霊の一致を熱心に保ちなさい」と教えています。

私たちは互いに教会、教団、グループの垣根を低くして祈り合い、協力し合う中で、日本を動かし変える聖霊の新しい風と炎のリバイバル、トランスフォーメーションが起こされると信じます。

副議長 八束和心

JPCニュース第3号では、各教団のゴスペルの取り組みについて、掲載させていただきました。ご協力いただいた教団・教会・担当者の皆様方にこころよりお礼申し上げます。

今後ともJPCニュースでは、加入グループの互いの交流・研鑽のために定期的に機関紙を発行する予定です。お祈りに覚えていただき、活用して頂ければ喜びます。 編集担当

加盟教団

(2006年12月現在 順不同)

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

日本チャーチ・オブ・ゴッド教団

日本フォースクエア教団

日本ペンテコステ教団

日本オープンバイブル教団

日本ネクスト・タウンズ・ミッション

単立ペンテコステ教会フェローシップ

シオン宣教団

神の家族キリスト教会

イエス・キリスト福音の群

## ゴスペルクワイヤーによる伝道

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央福音教会 伝道部長 玉山圭吾

当教会は東京・池袋のサンシャイン 60 ビルのすぐ側に位置し、駅から徒歩7分ほどの至便な立地にあります。しかし池袋は都内有数の繁華街であることから、信徒の住居は郊外が多く、しかも高齢化が進み礼拝出席者数が減少傾向にありました。そこで現状を打開するため「ブラック・ゴスペル」を用いた伝道を開始したのが2003年2月です。

おりしも、映画の影響などにより日本の若者の間ではブラック・ゴスペルが一種のブームとなっていました。祈りの中で「これを伝道的手段として用いること」を示され、既存のゴスペルクワイヤーの仲間達の手助けにより、ディレクター、ピアニストが備えられ8人ほどで「池袋センターゴスペルクワイヤー (ICGC)」が誕生しました。

特筆すべきは、メンバーのうち教会員は私の他に2名のみ、しかもクリスチャンは4名で始めたということです。教会内だけでは人材不足でしたが、既存の思い込みに捕らわれていては伝道できない、と神から示されました。

活動は第1・3火曜日の19:30から約2時間。内容は賛美・祈り・ショートメッセージから成り、礼拝の形になることを意識して行っています。広報については、ホームページの効果が絶大であり、好立地と負担の軽さ(実費¥1000/月)もあって、キリスト教や教会に全く無縁の20~30代の男女が次々に訪れるようになりました。1年を経過した頃から、本場ニューヨークへのツアー、教会でのコンサート活動などを通して救われる者が起こされ、他教会で救われた者も含めると10名ほどが教会につながって信仰を持つに至り、教会の活性化に大いに貢献しています。

\* ICGCホームページ <http://sound.jp/icgc/>

## ゴスペルについての取り組み

日本オープンバイブル教団

神戸キリスト栄光教会

ゴスペル担当牧師 小林登代子

教会主管牧師 菅原 亘

主の御名を賛美致します。

リジョイス ゴスペル クワイヤーは2001年に結成され、田中 武兄(明石上の丸教会)の指導の下、長田クラスとして、木曜/月2回・夜19:00より行われています。

震災メモリアル、教会コンサート、市民イベントなど積極的に各種のイベント・ライブ活動をしています。長田クラスは15~20人で、他のクラスを合わせますと100名を超えます。殆んが未信者の方々ですが、当教会でも2名の受洗者が与えられました。このゴスペルを通してショートメッセージ、祈り、時には個人的な相談に応じるなどして教会への敷居を低く、受け入れられるものへと取組んでいます。

ゴスペルの原点である福音に一人でも多くの方が触れられる様に心からお祈りしております。

## (練習風景)



## 「シオン・マスクワイア」

シオン宣教団 大阪シオン教会  
牧 師 安 達 隆 夫

大阪シオン教会のクリスチャンを中心としたゴスペルクワイア。音楽を通じて神の愛をひとりでも多くの人々に伝えたいという思いで 1997 年結成。

当初は教会内の聖歌隊をベースにイースター、父の日、母の日など教会内での奉仕からスタートしたが、徐々にメンバーが増し加えられ、外部の働きへと展開していった。2000 年からは年末恒例になった地域のホールにおける「クリスマスコンサート」がスタートし、毎年およそ 300 名の人々を集められるまでになった。近隣の方々からは「今年も楽しみにしています」という声を聞く。また、去年はチャリティで近隣の商店や会社関係の方々へ趣旨をご説明して協力を呼びかけ、最終的にパキスタンの被災者に 40 万円を寄付することができた。まさに、神の愛が東大阪の町から多くの人々の心に伝えられているしるしだと感じた。

その他、教会外の働きにも積極的に参加している。各種の大会やコンサートなどでも奉仕の機会が与えられ、2005 年には関西ゴスペル会の最高峰“なにわゴスペルフェスティバル”のメインステージに上がり、ジェイ向山氏、小坂忠師、岩淵まこと氏らプロのゴスペルシンガーと共に主を賛美するという素晴らしい機会を与えていただいた。そして神様を知らない多くの観客の前でゴスペルと証しを通じて神をほめたたえた。

メンバーの N 姉は「私達は決して上手くはないけれど、心から『神様を賛美したい』という思いは誰にも負けません。」と語る。正にその思いが忙しい生活の中でも時間を作り、練習に駆けつけてくるメンバーの心を燃やし続けている。

これからも地域に愛されながら、神の愛を伝え続けて行きたいとメンバーは語る。一人でも多くに神様を伝えることができますように！

God Bless You !

### ゴスペルへの取り組み (2006 年 11 月現在)

#### イエス・キリスト福音の群

イエス・キリスト福音の群の各教会でのゴスペルへの取り組みは以下のとおりです。

茨木キリスト福音教会では、月三回、教会を会場にジーザス・ジョイフル・クワイアが練習をしています。毎回 20～30 人が集合、土曜日に行われる練習ではミニ礼拝（牧師らによるメッセージがある）がもたれています。教会での奉仕だけでなく、コミュニティでのイベントなどでも活躍中。

盛岡チャペルの主催で、月二回、市内のキリスト教センター（旧善隣館）を会場に、盛岡ゴスペルクワイアが練習をしています。地域のショッピングセンターのイベントや仙台ゴスペル・フェスティバルに出演するなど、幅広い活動を展開しています。

東北中央教会では、おおひらゴスペルクワイアが月に二回、教会を会場に練習をしています。地域の祭りや盛岡ゴスペルクワイアと合同で仙台ゴスペル・フェスティバルに出演、また、老人福祉施設などでも活動しています。

いわきホームチャペルでのゴスペルクワイアの活動は不定期的なものですが、毎月一回ゴスペルを中心に歌う賛美集会が開催されています。

宮崎福音教会ではイベントに向けてのゴスペルクワイア作りが現在、進行中です。

## ゴスペルの取り組み

単立ペンテコステ教会フェローシップ教会  
御殿場純福音キリスト教会

私達のゴスペルワークショップは、2003年に始めて今年で4年目になります。現在参加者は、約30名。常時参加者は約20～25名。

年齢は大体20歳から、約65歳くらいまでの、男女が集っています。

年度初めの3月に、公に募集をかけ、新しい人が常に入ってくるようにしています。半分以上は一般の方です。

また、娯楽の多い都会に比べて音楽の影響が大きく、できるだけ音楽的にも、歌詞内容についても良質のものや、時には一番新しい曲を選びながらゴスペルワークショップをすすめています。田舎ということに甘んじずというところで、参加する方は結構喜んでくださっています。日本語の歌と、英語との比率は4：6くらいです。年に1回ゲストを呼んでのジョイントコンサートという形で、コンサートを持っています。夏は夏祭りのストリートライブ、その他口コミで広がり依頼されて市の国際イベントでの出演や、米軍キャンプ場での出演、地域の子供会、老人ホームなどで出演することもあります。

中心的なスタッフは、ゴスペルワークショップ全体のアレンジに携わる伝道師と、クワイヤーのディレクター夫妻、受付その他の窓口になる女性であわせて4名です。こちらは全員教会員で、ゴスペルの働きに重荷を持っているメンバーです。これに加え、奏楽者、クリスチャンの祈り手、ケーキを焼く方などが加わっていて、月に2回のゴスペルワークショップを持っています。(第2と第4土曜日、夜7：00～8：30)

現在は、スタッフと重荷を持った方々が5時に集まり音楽練習をした後、6時から祈り会、6時半からはワークショップの人を迎えるという形をとっています。このゴスペルワークショップの目的は、地方教会の働きをサポートするものであり、福音宣教と弟子化です。ワークショップの中では歌詞の意味から福音を語るようにしています。

ここから礼拝に参加した人は、かなりいますが、まだバプテスマまでにはいたっていません。今後の課題は、彼らが気軽に心を開ける小さなセルグループと、もう少し深く学ぶことのできる次のステップを必要としています。そんな中でアルファークースの導入を考え中です。これは、ワークショップの中ではできないので、違う日に設けたいと願っています。

